



第124号

プラスチック 中部

平成29年6月14日
www.chubu-pla.or.jp

一般社団法人
中部日本プラスチック製品工業協会
愛知県プラスチック成形工業組合
〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4番41号
(名古屋市工業研究所管理棟4階)
電話(052)654-8155 FAX(052)654-8140
E-mail: info@chubu-pla.or.jp

協会60周年記念事業を推進

協会・組合が通常総会開催

第12回優秀従業員表彰も挙行



横山会長

協会及び組合では、5月24日午後から名古屋国際ホテルを会場に通常総会を開催した。協会は設立60周年を迎えることから、これを機に一層の躍進を図るべく結束が図られた。また

『第12回優秀従業員表彰』も予定通り挙行された。

組合の第53回通常総会であいさつを行った原田理事長は、青年会、支部会との連携強化、検定受検者が平成22年度をピークに減少傾向にあるので、歯止めをかけて増加に努めたい。世の中の激しい変化に対応しながら、「善きことはカタツムリの速さで進む」を比喻に組合組織の基盤充実を図りたい旨述べ、協力を要請した。引続き議案審議に移り、いずれも原案通り承認された。

次いで開催された協会の総会で冒頭挨拶を行った横山会長は、新年度は協会設立60周年を迎えるので、IPF JAPAN 2017(国際プラスチックフェア)への初参加、記念式典、記念事業の実施を計画、協会一丸となって節目を飾りたい旨を述べた。次いで、議長席に着き議案審議へ移り、全議案原案通り異議なく承認された。

優秀従業員表彰式は、各事業所の発展に寄与、多大な功績を残し、事業主の推薦を受けた優秀従業員を表彰するもので、今年は11名が受賞した。

横山会長から表彰の対象説明があり、一人ひ



原田理事長

とりに表彰状、記念品が贈られた。

来賓祝辞では、中部経済産業局産業部部長青木太久美氏から「組織をあげて、プラスチック業界発展のために引続き寄与していただ

きたい。中部地区の経済状況については回復基調にある」と、成長と分配の好循環をフラッグにした施策が披露された。

また、愛知県産業労働部産業振興課課長太田義孝氏は「県政への協力に感謝の意を表し、モノづくり愛知の更なる発展に協力を要請したい。金融支援等施策の活用を促し、7月に名古屋で開催される『ロボカップ世界大会』の成功に向けての取組みをしたい」と述べた。

以上で表彰式を終え、引き続き会場を移動して行われた懇親パーティーでは、横山会長の開会挨拶に続き、全日本プラスチック製品工業連合会鈴木会長(鈴木化学工業所)から、下請法の遵守により効果がみられる。引続き、中小企業がより強くなっていけるよう国にアピールしていきたい旨の言葉に続いて乾杯の発声が行われ、懇親に入った。

なお、盛会の中壇上では被表彰者へ似顔絵が贈られ記念撮影と進められ、最後に組合原田理事長の中締めで閉会した。

インタビューによる

優秀従業員皆さんの喜びの声

(受賞者皆さんには表彰状及び副賞として商品券が贈呈されました)



株式会社タイセイプラス 生産管理主任 勤続12年 エンドウヤスヒロ 遠藤靖宏



今日の受賞理由は職場の合理化、原価低減に努めた事など？ よく分かりませんが、取り組んだことは真摯に受け止め諦めず努力したことですかね。今後も急に激変することはなく一生懸命業務に励みます。

今日同じ部署の仲間に祝福はされましたが、「平日なのに行っちゃうの!？」と……。もちろんいろいろ段取りなど、指示してきました。副賞の用途？ えっ、そんなに頂けるのですか。有効に使う事をこれから考えます。

株式会社タイセイプラス 品質管理主任 勤続11年 ワシツシネチ 鷲津慎一



この喜びを「24日の夕食は要らない」と遠回しに家族に説明したら、良かったなと祝福されました。私のポリシーは相手に不快な思いをさせないことに心がけています。今後も課長の負担の軽減に努めたいと思います。

本日一緒に受賞した遠藤さんは、とにかく生真面目ですね。ちょっと話しかけづらいところが…。私と正反対かな？

副賞は腕時計が良いかな。いや、やっぱり父の日のプレゼントにします。

ゴトープラスチック株式会社 安城工場GM 勤続12年 サワダダイスケ 澤田大輔



受賞の喜びは、結婚したばかりのまだまだ若い妻（13才年下）に。もちろん今朝も「今日は気をつけて行ってね♡」と送り出されました。

入社のかっかけは、派遣でイノアックさんに勤務していた時、安城工場が出来るという事で知人に紹介されました。私のポリシーは仕事でも遊びでも、とにかく楽しくやること。今は若い子達とフットサルで楽しんでます。

副賞は愛する奥さんと美味しいものでも食べに行こうかな。



株式会社鈴木化学工業所 管理部 品質管理課 測定Gリーダー 勤続15年 ^{スズキケイジ} 鈴木啓二



私の名前は社長と一文字しか変わらないので、よく皆さんに親戚かと誤解されますが実は婿入りして姓が変わっただけなので…。仕事は新規品の精密測定が中心ですが、仲間が苦勞して立ち上げる製品なので、人員と測定機器のスケジュールをやりくりして間違いの無い評価を下せる様に努めています。

実は私、毎年皆勤賞を狙っているんですが、そんな地味な努力が認めていただけのならありがたい事だと思います。

株式会社ミワテック 金型事業部 工場長 勤続20年 ^{ナガヤマサヤ} 永谷昌也



僕の親も金型屋で昔ながらの職人の世界で育ったのですが、この会社は最初から高度な工作機械を扱わせてくれたので、その性能にすっかり惚れ込んでしまいました。いつの間にか一番の古株になって、難しい課題には技術の限界を感じたりもしますが、金型は一品物なので仕事の内容が変化に富んでいるのも魅力ですし、工作機械の様に『お客様のご要望に対して忠実に、正確に、速く』と、いつも心がけています。

三恵プラスチック株式会社 検査員 勤続15年 ^{アカホリサチコ} 赤堀幸子



最初は成形ラインに付いていたのですが、5年、10年と永年勤続もいただいた上に今度は優秀だなんて、不良品を見逃してしまった時の事を思い出すと、こんな私に…と、恐縮してしまいます。

長く勤めている内に主人は一足早くリタイヤして、私の代わりに掃除や食事の準備など“主夫”をしてくれているので、感謝を込めて副賞で主人の自転車を新調して、一緒に食事に行こうと思います。


三恵プラスチック株式会社 検査員 勤続15年 ^{スギムラフ ミヨ} 杉村富美子



赤堀さんとは同じ日に入社した同期です。彼女はリーダーシップを発揮する優秀な人ですが、私は縁の下の力持ちの様にコツコツやって来たつもりなので、違ったタイプの二人が受賞というのも面白いものですね。ここはみんな仲良くバーベキューしたりするアットホームな会社なので、社長も良く見てくださっているのだと思います。

副賞は、職場のみんなにお菓子でも配らせてもらいたいですね。

技術とハートがスパークする
ドラマチック創造企業
プラスチック、セラミックス、MIM金型



株式会社 三洋製作所

本社工場 名古屋市緑区鳴海町下汐田 177 番地
TEL 052-621-5238 FAX 052-621-3501

プラスチック表面処理の
一貫生産が可能！

金型製作から成形、めっき、ASSYまでお任せください！

成形・めっき・蒸着・塗装・組立等
プラスチック表面処理の一貫生産メーカー



東洋理工株式会社

〒444-1193 愛知県安城市藤井町南山178番地
TEL: 0566-99-0851(代表) FAX: 0566-99-1355
URL: <http://www.toyoriko.co.jp/>

星和化成株式会社 品質管理業務 勤続13年 ^{ウチダケン} 内田 拳



入社当初は製品検査員として4年間従事し、その後は品質管理業務を一筋でやってきた事が評価され受賞につながった、と思っています。顧客にクレーム品を流さない、をモットーに徹してきました。以前は代替品納入や対策書作成、他部署への応援などバタバタの毎日でした。今ではその甲斐あってクレームが低減され、現場の品質も良くなりました。副賞の使い道ですか？ふたりの子供に何かを買ってあげたいですね。妻や子供の喜ぶ顔が一番元気になりますから。

星和化成株式会社 業務部購買全般 勤続12年 ^{フクタタカシ} 福田 高士



客先への出荷業務から始まり、6年目以降に今の購買部門に配属されました。外注さんと当社、また納入先との円滑な橋渡し役として実直にやってきました。その事を認めていただき今回の受賞になったと思っています。とにかく納期遵守を徹底！必ず間に合わせる、未納を発生させない事に専念しました。そのため、いろんな方に気を遣いながら業務に励んできました。頂いた副賞で家族を食事でも連れていき、もてなしてあげようと思います。

株式会社名古屋精密金型 製造課メンテナンス係 勤続30年 ^{キノシタハルオ} 木下 春男



金型メンテナンスで主に海外からの量産金型の修理を行ってきました。月あたり30面ペースで納期に追われ、修理に追われる毎日です。とにかく真面目にコツコツやってきた事が受賞の理由だと思っています。最近に入社する若いヒトに教える事で苦勞しています。マニュアルを使って相手に説明しても、「伝わり方」はヒトそれぞれですね。受賞を伝えたら、さすがに家族は「よかったね」と言ってくれました。副賞は九州でひとり暮らししている嫁さんのお母さんに贈ろうかな、と考えてます。

株式会社名古屋精密金型 金型製造課 課長 勤続26年 ^{ハタナカリョウジ} 畠中 隆司



宮崎工場の設立当初から金型の製造・組付けを中心に従事してきましたが、あれから25年以上のキャリアを認めて頂いた、と思っています。心配症でもあり、客先メーカーを考えボルトの締め忘れ等 念を入れたチェックをしています。現在は研修生やパートの部下が多数いますが、食事会などコミュニケーションの場が減ってしまい残念ですね。今日は家内から「いってらっしゃい」と快く送ってもらいましたが、もらうとは思わなかった副賞は… これから考えます。

PLASTICS WORLD
YAMASO
山宗株式会社

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 〒462-0825
TEL(052)913-6131 FAX(052)913-6138
東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海

営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京
茨城・浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜・京滋

NEX-IV

小さな機械。大きな金型。
——— 新型 電気式高性能射出成形機 ———

■東海営業所 / TEL(0568)75-9555(代)
〒485-0039 愛知県小牧市外堀2-167
■岡崎出張所 / TEL(0564)52-1430
■三重出張所 / TEL(059)272-4065
■静岡出張所 / TEL(054)685-8441
■浜松出張所 / TEL(053)423-0205

NISSEI 射出成形機・金型・成形支援システム
日精樹脂工業株式会社
http://www.nisseijushi.co.jp

■本社・工場 / 〒389-0693 長野県埴科郡坂城町南条2110 TEL(0268)81-1050

前期技能検定実技試験スタート

今年度前期技能検定1・2級（プラスチック・射出成形）の実技試験が6月6日プラスチック成形技能検定場で始まった。

今年度の実技受検者数は、1級236名（前年比42名減）、2級479名（72名減）合計715名で、昨年より114名（-14%）の大幅減となった。

試験期間は61日間の予定で延べ305名の検定委員、補佐員が動員される。2級の1日1台3名、合計15名での実施日は15日間減少して23日間の予定である。

今年の検定委員会議は5月29日に名古屋市工業研究所で開催。89名中78名が出席し、採点基準に基づいて各採点項目毎の判定基準などを確認した。また、5月18日には昨年同様新任の検定委員（今年は12名）を対象に研修を実施、併せて主任検定委員会議も開催し計26名が参加した。原田技能検定委員長を中心に、主任検定委員から試験内容に沿って採点時の判定の基準や検定職務全般について指導を受けた。

採点会議は9月7日に名古屋市工業研究所で実施する予定である。



材料の投入



金型の取付け

また、8月20日に学科試験が実施されるため、7月23日(日)に学科講習会を開催する。（詳細は下記参照）

合格発表は9月29日(金)の予定である。

学科講習会開催のお知らせ

日時	平成29年7月23日(日曜日)
	午前9時30分～午後4時30分
場所	名古屋企業福祉会館 6階ホール 名古屋市中区大須2丁目19番36号(大須観音東側) TEL〈052〉221-6721
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学科試験受験要領と心得 9:30～10:00 ・模擬試験 10:00～12:00 ・昼食 12:00～13:00 ・模擬試験の解説と質疑応答 13:00～16:00 ・担当講師 中部日本プラスチック職業訓練校 講師 林 盛彦 先生 ・模擬試験の採点結果発表 16:00～16:30

日本初のプラスチック射出成形機を開発

起源は、名機。

 株式会社 名機製作所

〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2番地
TEL 0562-47-2391(代) FAX 0562-47-2395

8AH型(1942年)

<http://www.meiki-ss.co.jp>

株式会社 ユーシン精機

YUSHIN

本社・工場

〒601-8205 京都市南区久世殿城町 555 番地
TEL : 075-933-9555 FAX : 075-934-4033

中部統括営業所

〒442-0809 愛知県豊川市大橋町2丁目62番地
TEL : 0533-89-2021 FAX : 0533-89-2020

名古屋西営業所

〒511-0811 三重県桑名市東方1529-1 ハイツアザレア
TEL : 0594-24-9500 FAX : 0594-24-9505

静岡営業所

〒422-8035 静岡市駿河区宮竹1丁目19番10号
TEL : 054-238-2848 FAX : 054-238-2847

「IoT」事業の推進を図る

連合会が第56回通常総会

八尋一恭氏専務理事に就任



中央は挨拶する鈴木会長

全日本プラスチック製品工業連合会の第56回通常総会が6月8日午後3時から、東京・新橋の第一ホテル東京で開催され、各地区協会から合わせて27名が出席した。

鈴木会長の挨拶に続き、前年度まで専務理事を務めた高橋廣氏より平成28年度事業報告及び平成28年度決算報告、収支差額処分案が上程され、原案通り承認可決された。そして今年度より新任の八尋一恭専務理事より平成29年度事業計画および、平成29年度収支予算案が読み上げられ、これも原案通り承認可決された。

また審議後、高橋廣氏より「通算で15年お世話になり、歴代で計8名の会長のもと連合会に仕えて参りました。なかでも連合会50周年の記念事業が印象に残っています。今後は後輩である後任の八尋専務理事に対しご指導のほどお願いします」との退任の挨拶があり、出席者からは大きな拍手が送られると共に、鈴木会長より記念品が贈呈され通常総会は終了した。

休憩を経て西日本プラ協会の平田課長よりIoT事業の今後の予定について報告があった。経済産業省のIoT推進の委託事業として、近畿経済産業局と西日本プラスチック製品工業協会によって各成形機メーカーの成形条件データを一元化することで、データ統合システムを図るという内容であった。そのデータベースであるMiddlewareと生産管理システムの連携により生産性の向上や高付加価値製品の安定生産、最

適な成形条件に期待できるとの事。今後は工場内に成形機を含めLAN対応が必要と説明があった。

その後、経済産業省素材産業課の喜多課長補佐、池田係長を交じて意見交換会が開かれた。最初に池田係長から下請取引に関するルール遵守や、取引の適正化についてヒヤリングを行っているという説明があったが、出席者からは一方的なコストダウン要請や金型保管の取り決め、二次・三次下請への行き渡りはさらに厳しいなどの意見が続出した。

池田係長からは3月改正の下請取引ガイドラインや「価格交渉ハンドブック」の説明があり、継続的に施策の手を長く打ってほしいとの回答があった。意見交換の後、茂木課長も加わり懇親会が始まった。挨拶で鈴木会長は「我々中小企業には売上減少、人手不足、事業承継など多くの課題が山積しているが、国からの強い指導のもと各種支援策、下請法の遵守等により好転させていきたいと思います」と述べた。加藤副会長の乾杯の後、素材産業課の3名と出席者で質疑を交じえ歓談があり、また出席者同士で各地域の近況など立食しながら懇親を深め、話が尽きない中、原副会長の中締めで懇親会は終了した。



挨拶する経済産業省 茂木課長



親睦ゴルフ参加者（小金井C.C.）

中村会長再選、会員増強促す 青年会第42回通常総会開催

青年経営者研究会の第42回通常総会は、5月26日午後6時より名古屋国際ホテルにおいて開催され、本人出席17名、委任状18名、来賓3名が出席した。

第3号議案役員改選では、別掲の通り新役員が決まり、再選された中村嘉久会長（佐野屋産業）は、43期目のスタートを切り、「会員の増員を最優先に努め、活動の充実を図って行きたい」と所信を述べた。

総会は伊勢村理事（千代田合成）の司会で進行され、研究会精神斉唱に続いて、中村会長の挨拶で工場見学会（鳥越樹脂工業、東洋機械金属）等の事業を振り返り、新年度はIPFにおいて、上部組織が出展ブースを確保しているので、積極的に参加をと促した。

議案審議に移り、第1・2号議案の平成28年度事業報告・決算報告の件、第3号議案役員改選の件、第4・5号議案平成29年度事業計画案・予算案の件はいずれも原案通り承認可決された。

議事終了後、来賓を代表してあいち産業科学



議案審議を進める総会

技術総合センター産業技術センターの吉村裕化学材料室長から祝辞があり、品質の改善、新製品開発への取組の中で、産業技術センターを利用していただき、技



中村会長

術相談、依頼試験、講演会、研修会、経営研究補助金などを通じて支援して行きたいと述べた。

続いて懇親会に移り、名古屋市工業研究所浅尾所長より、研究所の技術支援を利用して欲しい、若い経営者の組織によるネットワークを活かし、企業運営にも役立てていただきたいとあいさつし、乾杯の発声を行った。

和やかに歓談が進められ、組合原田理事長の「会員当時を回顧した。仲間同士の絆を深められるような環境を活動の中で作って行って欲しい」と、OBとしての思いものせてあいさつ、三本締めで締めくくられた。

平成29年度新役員

▽会長＝中村嘉久（佐野屋産業）

▽副会長＝久留健司（化研）

▽理事（書記）＝鷺見圭一（鷺見化工）、同（会計）＝原大輔（原製作所）、

同＝岡戸良樹（三輝工業）、宇佐美義則（ウサミ化成）、澤田俊也（桂化学工業）、瀨瀬英幸（交告プラスチック加工）、平松三千将（ニットウ）、柄谷周作（東海化学工業）、伊勢村雄吾（千代田合成）。

▽監事＝原田繁樹（中部エクストロン）

〈敬称略〉

プラスチック原料販売乃着色加工

永興物産株式会社

本社 〒491-0822

愛知県一宮市丹陽町伝法寺 911 番地の 2

TEL (0586) 77-4033

FAX (0586) 77-8014

<http://www.eikoubussan.jp>

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料

睦物産株式会社

〒450-0002

本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号

TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346

支店：東京・大阪

スケッチ

「良い製品はゆとりから」

株式会社モトシオプラスチック

代表取締役 成田 由香里

モトシオプラスチック（名古屋市南区南野2-288）は、射出成形を生業として創業18年を迎える。

当時は、バブル崩壊後の平成不況真っ只中で、創業することになるとは思ってもみなかった。当初の経済環境では、扱い商品の選択などできる余裕もなかったため、周りの紹介で、自動車はもとより住宅関連・遊戯機器・機械等の部品等当時の設備で、対応可能な全ての製品を手掛け現在に至っている。



本社工場外観

経営においては創業当時から、簡単なことではないが『全ての面に於いて、ゆとりが無ければ良いものは生まれ難い』という信念を基に日々活動している。

また、ゆとりの一環として工場敷地内に、癒し目的で飼育している2代目の「ジャーマンシェパード」が、嘱託警察犬を目指して訓練学校



可愛がられているジャーマンシェパード「ザフィア」へ通学しながら、営業と警備を兼務して皆に可愛がられている。

生産設備等については、現在60トンから680トンまで合計13台を稼働させて、一部製品については、成形工場2階に於いて手作業による簡単な組付け加工も行っている。

一方金型製作については、「短納期」という要望に対応するため、韓国に合弁会社を設立し、650トンクラスの金型であれば3週間でTO製品の取出しを行っている。

今後の課題は、中型機の増設を求められている中で、現在の限られた敷地面積で増設が可能か、もしくは郊外へ移転しなければ、増設は困難なのかなどを判断し、生産力を高めていくことである。



成形工場内

TOYO
Customer's Value Up
～お客様の商品価値向上をめざす～

東洋機械金属株式会社 電動サーボ射出成形機 / 金型
<http://www.toyo-mm.co.jp>
中部支店：〒465-0051 愛知県名古屋市名東区社が丘1-1202
TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

先端技術とトータルシステムで貢献 **KAWATA**

成形現場に最適な装置をご提案します

株式会社 **カワタ** www.kawata.cc
名古屋営業所 〒461-0021 名古屋市東区大曾根1丁目2番22号
TEL.052-918-7510 FAX.052-911-3450

成形条件情報の共通化図る

共有化ソフト「Middleware」

連合会が希望者に提供開始

全日本プラスチック製品工業連合会では、(一社)西日本プラスチック製品工業協会、近畿経済産業局、ムラテック情報システム(株)の三者と成形機メーカー(5社)等の連携により開発した「成形条件情報の共有化ソフトMiddleware」を連合会傘下4団体の会員で希望する事業所に提供を始めた。

プラスチック加工メーカーは複数のメーカーの成形機を用いて製造しており、高精度な製品の製造には、成形条件情報等の把握、収集、活用が重要となるが、成形機からのデータフォーマットが成形機メーカー毎に異なるため、加工メーカーでは情報を統合して一括管理できない状況にある。このため関連機関の横断的な参加のもと、グローバル基準の規格に合わせたデータフォーマットの共通化とそのデータ統合システムとして「Middleware」を提供し普及を図り、プラスチック業界全体のIoT化を推進するというもの。

「Middleware」を導入することにより、「EURO-MAP63」に準拠した成形機から得られる成形条件情報を一括して把握・収集することが可能となるだけでなく、収集した成形条件情報はデータベースに蓄積され、他のシステムと連動させることによって、品質・生産管理やトラブルの予知保全等、様々な活用が期待される。

協会では、勉強会を7月31日(月)午後2時から名古屋市工業研究所で開催する。

養成訓練・向上訓練合同入校式

中部日本プラスチック職業訓練校

愛知県認定中部日本プラスチック職業訓練校の平成29年度養成・向上訓練合同の入校式が4月14日名古屋市工業研究所で開催された。

はじめに横山校長が「あなた方は会社から期待されて選ばれた人です。一年間しっかり学んで知識を増やし、身に付けた技術、知識を会社の利益向上に役立て、立派なプロとして業績を上げて会社に貢献して下さい」と挨拶し、列席の講師より所信表明や挨拶の後、事務局より今後一年間の訓練スケジュールや注意事項などの説明が行われた。

向上訓練は第1回目の課題が手渡され、養成訓練は午後から「プラスチック概論」の授業が実施された。

今年度は、養成訓練(通学制)5名、向上訓練(通信制)1級10名、2級35名、合計50名のスタートとなった。



正面は挨拶する横山校長

プラスチックと未来を創る
Building the Future with Plastic

タイセイプラス

試作～量産まで、スピーディに対応します。

お問い合わせ Tel 052-409-3333 Fax 052-400-0354
e-mail tpj@taisei-plas.com

Sumitomo
SHI **DEMAG**

住友重機械工業株式会社 プラスチック機械事業部

国内営業部 中部営業所

〒465-0045 愛知県名古屋市名東区姫若町14-1

営業：TEL.052-702-3801 FAX.052-702-3806

サービス：TEL.052-702-3803・3802 FAX.052-702-3806

URL <http://www.shi.co.jp/plastics>

職業訓練校レポート

中部日本プラスチック職業訓練校では、6月3日、電気工学概論の授業でタニグチ商店を見学した。提出されたレポートを紹介する。

タニグチ商店見学レポート

■タツミ化成(株)：T.H

電気工学概論の授業の一環でタニグチ商店へ工場見学に行きました。タニグチ商店は昭和15年に創業、戦時中は中断していたが、昭和24年に再開した老舗の玉子焼きの会社です。

玉子焼きを製造する工程はほぼ機械で行われており、その中でも電気工学概論の稲垣先生が携わった、玉子を焼く工程で卵をかき混ぜる機械が印象的でした。かき混ぜる箸は、昔は竹の箸を使用していたのですが、今はPEEKという特殊なプラスチック材料を使用した箸を使っていてPEEKで出来た箸は熱に強く丈夫で高価だそうです。そして玉子焼き製造をしているラインを見るとプラスチック成形と玉子焼きでは製品はまったく違いますが、製造ラインでの機械の役割が似ている所も有り驚きました。

また、玉子焼き1本作るのに必要な卵は9個で、卵ひとつの原価は昔とはさほど変わらないようですが2~3年前から値上がりしているようです。

今回、タニグチ商店へ見学して、モノ作りに関わる仕事をする上で良い品物を作るには技術、経験、知識が大事なことを改めて実感しました。試食させて頂いた玉子焼きは機械で焼いた物も人間が手作りした物もそれぞれとても美味しかったです。

■(株)タイセイプラス：Y.N

6月3日にタニグチ商店を見学させていただきました。プラスチックの商品を扱っている工場かと思えば、玉子焼きの工場だと言われ、プラスチックのことを学んでいるはずなのに玉子焼き工場？一体何を見て学べば良いのかと、あまりピンときませんでした。しかしいざ見学してみると工場内は人の手が使われる工程や機械、ロボットが使用されている工程、材料調整、温度管理、成形、加工、検査など、様々な部分でプラスチック成形と共通したところが多々有り、弊社で仕事をしている時には気付かなかった点にも気付かされたり、見学したからこそ学べたことが沢山ありました。

品質に対する考え、顧客のニーズに応えること、その中でのこだわり、作業するにあたっての創意工夫、本当に勉強になりました。いくら機械やロボットで管理していると言っても、今まで培ってきたことで生まれた「勘」や「感覚」は必要不可欠でそう簡単に身に付けられることではないですし、やはり様々な苦労や経験を積んでいくという事は大切なことなのだと改めて思いました。プラスチックと玉子焼きというジャンルや製品は違えども確かに生産製造とい



担当者に質問する訓練生

ISONO

いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-0012
TEL<052>931-1211(代)
FAX<052>930-1975



株式会社 三幸商会

取締役社長 若尾 剛

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075

TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141

Sanko Shokai Co., Ltd

3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan
TEL : (052) 733-5111 FAX : (052) 733-5141

うことにあたっては重要なことばかりでした。

今回タニグチ商店で見て学ばせていただいたことを心に留め、これからに生かしていきたいと思えます。

■(株)鈴木化学工業所：T.T

卵焼きの製造工程を見学するために、タニグチ商店へ足を運んだ。弊社ではプラスチックを製造している。そのため、食品とプラスチックの製造では、その工程は大きく異なるだろう。それなので、製造に関して類似している点を探すことにした。

早速、卵焼きの製造工程を見学した。1時間で240本の卵焼きを焼き上げるという。卵の計量、焼く工程など、すべての工程が機械で行われていた。ナベに投入した卵を混ぜる工程も機械が行うことで、一つ一つの卵焼きにムラが出ないようにになっていた。またその製造工程の中には工夫もあった。原料の卵は冷蔵保存されており、そのままナベで焼くと、温められたナベが温度差により冷えてしまう。それを防ぐために卵が固化しない温度で温めることで、ナベとの温度差を小さくしていた。さらに完成した卵焼きを次工程に移す際には、板の上に乗せてスライドさせて移動していた。焼きあがった卵焼きは機械などで掴もうとすると形が崩れてしまうためである。以上のことから、品質の高い卵焼きを製造するための工程がしっかりと確立されていると感じた。

卵焼きの製造は、弊社では見慣れない製造工程や工夫ばかりであった。また、より品質の高い商品を届けるために、製造工程に様々な工夫が施されている点は、製造しているのが卵焼き



担当者より製造工程の説明を聞く

とプラスチックの違いがあっても、類似していると感じた。

■(株)鈴木化学工業所：M.K

6月3日にタニグチ商店へ見学に行きました。同社は玉子焼きを製造しており、プラスチック成形がメインの弊社と何が関係あるのかと不思議でした。しかし実際に見学してみると、違う商品（製品）を作っている商品にかけるとの思いは一緒であると感じました。

同社は1時間に240本の玉子焼きを作っており、卵液は35～36℃の温度で温めてから焼くように温度調節が管理されています。玉子焼きは5層からなり、5つの鍋で順々に焼いて1本の玉子焼きが作られます。鍋は完成に近づくにつれて大きくなり、4枚目、5枚目は化粧面となって表面がキレイに仕上がっています。

また、1本の玉子焼きに9個の卵が使われています。完成した玉子焼きはふわふわで柔らかいため、手をつかんだり、機械で挟んでつかむということが出来ません。そのためヘラみたいなもので落として次の作業へと進めます。玉子

プラスチック用産業合理化機器メーカー
NAKAMURA
中村科学工業株式会社

本社工場 Head office & Factory 東京支店 Tokyo branch
〒444-0351 愛知県岡崎市北野町字高塚101 〒192-0104 東京都八王子市小西町B-37
TEL (0564) 31-2919 TEL (042) 620-5466
FAX (0564) 31-9435 FAX (042) 620-5461
URL <http://www.nakamurakagaku.co.jp/>

一生涯のパートナー
第一生命
第一生命保険株式会社
ホームページ
<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>

焼きはガスと電気を使って焼いています。ガスの方がよく火は通りますが、電気に比べると温度管理が難しく、電気の方が安定した商品を作ることができるので、用途によって使い分けているようです。

弊社でも電気と水（油）を使って金型の温度を保たせています。それぞれにメリットデメリットが存在し、用途によって使い分けています。玉子焼きとプラスチック、一見何の関係もなさそうにみえますが、それぞれの用途によって発電するシステムを変えているという点は似ていると感じました。

弊社では、絶対に不良を外部へ出さないように細心の注意を払い、日々品質向上に向けお客様からの信頼を損なわないように努力をしていますが、同社でも食中毒を絶対に起こさないように菌（微生物）が好む温度にならないようにし、一気に冷やして菌を出さない工夫をしていました。食品と部品で何も関係ないように感じますが、どの業界においても「品質」と「信頼」を一番大切にしている点は変わらないと思いました。



見学会に参加した訓練生



三井住友信託銀行

名古屋営業部 TEL.052-242-7311
〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号 栄ガスビル

「いい会社にはいい技術者が残る」この言葉を胸に、「品質」と「信頼」と「プライド」を大切に会社に貢献していきます。

■(株)西浦化学：T.N

電気工学概論の授業でタニグチ商店へ見学に行きました。同社では厚焼き玉子、ロール巻、金糸玉子などを製造しています。1時間で約240個の玉子焼きを作っています。材料となる卵液が冷めないよう一定の温度で温める装置や量を均一に流し込む装置、トランスファーマシンと呼ばれる5つに繋がって同時にひっくり返すアルミ鍋、さらに鍋に乗った材料をかき混ぜる棒が付いたロボットなどがあり、どれも弊社では見られない機械ばかりでした。食品製造工場なので衛生面ではかなり気を遣っており、完成した製品はすぐに一次冷蔵庫で約50分冷やし、さらにもっと冷蔵温度が低い二次冷蔵庫で同じく50分間冷やしていました。これには理由があり、菌が35℃の温度を好み、20分に1回分裂して増えていく為、製品が腐らないようにするためだそうです。その他髪の毛や異物などが製品に付着していないかをチェックするセンサー式機械などで細心の注意を払って作業していました。

私の働いているプラスチック工場では機械温度や成形条件などが重要であり、それはタニグチ商店も同じで、その中でも温度管理やサイクル時間などは特に神経を集中させているそうです。少しの火加減や量のズレで味や形、焦げ具合に大きく影響し、お客様に渡せる製品にはなくなってしまふからだそうです。

この見学でプロとしてのこだわりを持ち、お客様のニーズに合った製品をつくる為に色々な研究と知識、団結したチームワークが大切な事を改めて実感しました。私自身も今回勉強させて頂いた事を今後の糧とし、自分の造った製品に誇りを持ち、お客様に喜ばれる製品を提供して会社に貢献していきたいと思いました。

最後になりましたが貴重な見学をさせていただいたタニグチ商店の皆様、先生、有難うございました。

＝＝＝支部会だより＝＝＝

平成29年度第1回支部会が5月中旬に順次開催された。5月に開催される通常総会に上程される議案の説明、また、今年度の支部活動について情報交換を行った。

【第1支部・第2支部】 於：神楽家

5月11日



出席者＝オプロコ、佐野屋産業、近畿電機、三和ライト工業所、則武化学、ゴトープラスチック、みづほ合成工業所

【第3支部】 於：鳥銀 風月

5月12日



出席者＝大喜プラスチック工業所、瀬川化学工業、千代田合成、藤和ライト工業、玉野化成、笠寺プラスチック工業

【第4支部】 於：みかど

5月11日



出席者＝大和電化工業所、タツミ化成、兼弥産業、原製作所、三琇プレシジョン、日多加テクノサービス、星和化成、名古屋精密金型、大喜プラスチック工業所

【第5支部】 於：木曾路 小牧店

5月15日



出席者＝三扇化学、マルシン化成、大京化学、日本クインライト、化研、犬山ゴム工業

【第6支部】 於：札幌かに本家 栄中央店

5月18日



出席者＝和泉化成、ウサミ化成、名古屋燐寸、山勝工業、花井化成、藤和ライト工業

【第7支部】 於：しび

5月11日



出席者＝東洋化学、東郷製作所、東海化学工業（3名）、明和合成、三光金型、名豊化成、野場電工、大京化学

【第8支部】 於：川本

5月9日



出席者＝鈴木化学工業所、東洋理工、朝日理化、神本樹脂工業所、スギヤマプラスチック、吉良化成、三恵プラスチック、東海理化、三喜ケミカル、ミワテック、矢作産業、丸重、三和ライト工業所

業界レポート

[協会・組合の動向]

▼理事会

4月19日（名古屋市工業研究所） 33名

- (1)事務局より、平成28年度決算、平成29年度予算案について資料に基づき説明があり、審議の結果、原案通り全員一致で承認。
- (2)総会に欠席の場合、議決権行使書の提出で行使可能だが理事会の決定が必要。審議の結果、全員一致で承認。
- (3)平成28年度通常総会の実施要領について、総務委員会の討議結果を説明。審議の結果、全員一致で承認。
- (4)協会創立60周年記念事業について、総務委員会の事業内容の検討結果及びその他新規提案について、審議の結果、全員一致で承認。
- (5)正会員（第6支部）の入会申込の(株)高瀬金型、(株)名神精工の2社について、審議の結果、全員一致で承認。
- (6)平成29年度合同支部会(株)ユーシン精機の新社工場を見学先に決定。
- (7)その他、委員会、連合会、青年会、年金基金、事務局報告。

▼平成28年度 通常総会

5月24日（名古屋国際ホテル）

〈詳細は本文記事参照〉

▼総務委員会

4月17日（名古屋市工業研究所） 10名

- (1)4月理事会に上程する議案について討議。
- (2)その他

▼文化広報委員会

5月18日（名古屋市工業研究所） 6名

- (1)第123号の反省及び第124号の企画・方針について検討した。
- (2)その他

[全日本プラスチック製品工業連合会]

▼第180回理事会

4月21日（ホテル日航大阪）

- (1)第56回通常総会に上程の決算、予算などの議案が承認された。
- (2)その他

▼第56回通常総会

6月8日（第一ホテル東京）

〈詳細は本文記事参照〉

▼技能検定推進委員会

5月17日（ホテルメトロポリタンエドモンド）

児玉委員長他2名

- (1)平成28年度事業・決算報告及び平成29年度事業計画・予算案
- (2)平成29年度中央技能検定委員
- (3)平成29年度前期実技試験実施運営上の情報交換（改正事項・留意点）
- (4)随時3級試験について情報交換
- (5)その他

告知板

【住居表示変更】

▽賛助会員 永興物産(株)

(新) 〒491-0828

一宮市伝法寺一丁目9番地8



第一実業株式会社
DAICHI JITSUGYO CO., LTD.

本社 〒101-8222 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
(御茶ノ水ソラシティ) TEL03-6370-8600 (代)
大阪支社 〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満宮5丁目14番10号
(梅田UNビル) TEL06-6366-2800
名古屋支社 〒460-003 愛知県名古屋市中区錦2丁目3番4号
(名古屋フロントタワー) TEL052-201-5471
URL: <http://www.djk.co.jp>

未来素材をオーダーメイド
エンプラのトータルサプライヤーKASAGI



笠置産業株式会社

本社: 名古屋市東区泉一丁目17番24号 〒461-0001
TEL(052)962-9500 FAX(052)972-7986
営業所: 浜松・豊川・諏訪 工場: 豊川